

# JAMCA ニュース

The Japan Automobile Maintenance Colleges Association



No.22

1999年7月15日

発行 全国自動車整備専門学校協会  
 協会事務局 〒160-0015 東京都新宿区大塚町31  
 ヴィップ新宿御苑 ☎03-3356-7066  
 編集事務局 〒125-0002 東京都葛飾区西亀有3-28-3  
 ☎03-3601-2535 FAX03-3601-2988

## 整備士教育 発想の転換を

関東工業専門学校理事長  
 全国自動車整備専門学校協会会長

中川 裕之

今般、会長にご推挙いただきました中川でございます。よろしくお願ひ申し上げます。これまでの協会の活動を振り返りますと、教科書の独自著作、出版、車体整備士制度の導入など、革命的な変革を遂げてまいりました。

これは、会員の皆様はもちろんのことでございますが、特に小倉前会長の改革への強い意気込みと、リーダーシップによるところが大きかったと思います。その折、みずから会長を交代されましたことは、大変残念なことではございますが、引き続き、理事・顧問として協会活動にご協力をいただくことになりましたので、よろしくお願ひ申し上げます。

### サービス化への転換点

さて、世界的なデフレのなか、経済の回復の兆しも無いまま、失業率が5%に達しました。その大きな要因の一つは、経済構造の変化です。先進国経済は、工業化社会からサービス経済に移行しています。アメリカでは、全就業者に占めるサービス産業の割合が75%なのに対し、わが国では、ようやく60%で、経済のサービス化がかなり遅れているわけです。アメリカも過去、失業率が8%前後のときは、製造業からの失業をサービス産業で吸収しきれなかったのですが、コンピューターを中心とするテクノロジーの急速な進歩によって、サービス産業が発達し、製造業の失業を大幅にカバーすることができているのです。わが国では、製造業の失業をサービス産業がカバーできていませんが、いずれターニングポイ



ントが訪れ、そのとき、景気の回復が現実のものとなるはずで

21世紀の経済がサービス化であることを前提とすると、われわれの自動車整備士教育は、いかにあるべきでしょうか。車をリフトで上げて、ペンタイプカメラで点検故障箇所をモニターに映し出し、修理の適否をヘッドホンマイクでお客様に分かり易く説明し、信頼される整備士、営業のできる整備士、と社会が新しく求める二級自動車整備士の姿は、確実に、サービス化なのです。

ところが、大学の大学化に伴い、自動車整備専門学校に入学希望する学生の基礎学力の問題があります。つまり、卒業して自動車産業界に送り出される二級自動車整備士の質に影響を与えていることとなります。より高いサービスを提供する二級自動車整備士を、社会に送り出すためには、今までの発想を転換する時期にきているのだと思います。

### 一級整備士制度が社会を変える

一つ例を挙げれば、整備が好きな学生に、営業を教えることだけでなく、人と接触するのが好きな学生に、営業

の資格の一つとして、自動車整備を教えることも必要なのです。また、これからの二級自動車整備士の資格は、整備技術は勿論のこと、幅広く自動車産業界で活躍を望む人の為の資格としても必要なのではないでしょうか。その為には、社会が抱えている自動車整備士のイメージを根本から覆すなど、思い切った転換点を自ら求めなければいけないのです。

運輸省でご検討いただいている一級自動車整備士制度は、この現状を打破する二度とないチャンスですし、社会に大きなインパクトを与え、幅広い層の学生に、自動車整備に興味を抱かせる一級自動車整備士制度であって欲しいと願っております。そして、多様化したサービスに対応できる優秀な人材を社会に送り出し、わが国の基幹産業である自動車産業界に大きく貢献してゆくことこそ、われわれの使命であると確信しています。

大志を抱く若者に、夢と希望を与えることのできる、自動車整備専門学校を目指して、協会の発展に努力させていただきますので、皆様のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

### CONTENTS

- 2面 新役員紹介
- 3面 北から南から
- 4・5面 特集・増える研究科
- 6面 トピックス・先生方の声
- 7面 活躍卒業生・地区通信
- 8面 私の教授法・編集後記